

未来のための

やさしい節約

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品を選ぶことは社会貢献でもある、ということをご存じでしょうか。

服用しているお薬をジェネリック医薬品に替えると、窓口で支払う「自己負担」を減らせるだけでなく、

「税金」や「保険料」でまかなわれているこの国の医療費を節約することにもなるのです。

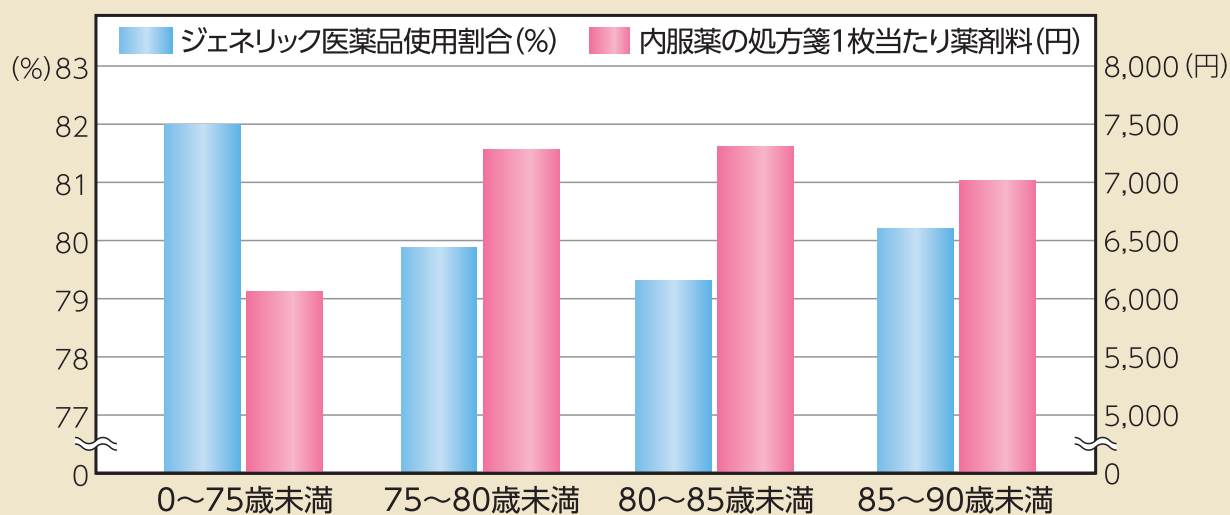
急速な高齢化に伴い、増え続ける日本の医療費。

このままでは、現代の優れた医療保険制度を次の世代に継承していくことが困難な状況です。

子どもたちが安心して暮らせる未来を残すこと、それは、私たちに課せられた責任でもあります。

ジェネリック医薬品という選択は、子どもたちの未

来を想う「やさしい節約」なのです。



約8割の方がジェネリック医薬品をご利用されていますが、高齢になると処方箋1枚当たりの薬剤料が高くなる一方、ジェネリック医薬品の使用割合が低い傾向があります。

ジェネリック医薬品に替えることで、一人あたりの調剤医療費を節約することができます。

※厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向 令和2年度3月号」のデータより作成

ジェネリック医薬品とは

先に開発されたお薬（先発医薬品）と同じ有効成分を同じ量使用したお薬で、先発医薬品よりもお薬代が安くなっています。厚生労働省が有効性や安全性を認めたお薬であり、安心して使うことができるため、厚生労働省も使用を推奨しています。

◎まずは、医師・薬剤師にご相談ください。